

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名 一般国道282号 <small>にしね</small> 西根バイパス <small>はちまんたい</small> 八幡平市大更 <small>はちまんたい</small> 八幡平市平 館	事業区分 一般国道	事業主体 岩手県 延長 8.9km
事業概要 一般国道282号は、岩手県盛岡市を起点とし、八幡平市、秋田県鹿角市を經由して青森県平川市に至る総延長約131kmの幹線道路である。西根バイパスは、八幡平市大更から平館地内の幅員狭小、線形不良の隘路区間及び交通事故多発区間を解消し、通行車両及び歩行者等の安全確保を目的とした延長8.9kmの2車線道路である。		
H6 年度事業化 H6 都市計画決定 H7 年度用地着手 H8 年度工事着手		
全体事業費 89億円 事業進捗率 66% 供用済延長 4.2km		
計画交通量 17,700台/日		
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 4.2 (残事業) 7.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 31/115億円 (事業費: 25/105億円) (維持管理費: 5.5/10億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 214/485億円 (走行時間短縮便益: 194/459億円) (走行費用減少便益: 14/ 22億円) (交通事故減少便益: 5.1/4.5億円)
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車すれ違い困難区間を解消） ・安全な生活環境の確保（歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置） 他10項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 地元（八幡平市）などから早期の整備を強く要望されている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 市町村合併（八幡平市：H17.9.1に西根町、松尾村、安代町が合併）		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成19年度までに1期工区（4.2km）を供用し、事業進捗率は約66%で全線に渡り事業が進捗している。主な残事業は2期工区（4.7km）の用地補償、改良舗装である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成21年度から2期工区への用地補償に着手し、早期完成を目指して事業の推進を図る。		
施設の構造や工法の変更等 2期工区の計画幅員の見直しや、アスファルト舗装の設計基準の見直し等により、コスト縮減に努めている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。